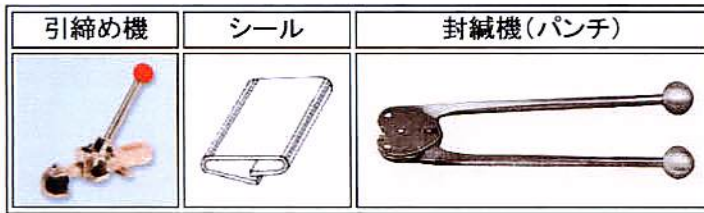


## 帯鉄梱包のいろは

### ・梱包には何が必要でしょうか

- 1) まず、帯鉄を引き締める「**引締め機**」&引き締めた帯鉄を止める為の金具「**シール**」&シールを加締めて固定する為の加締める道具「**封緘機(パンチ)**」の3種のツールが必要です(はさみ・コイルスタンドも必要に応じご用意ください)



帯鉄切断用のハサミも準備してください



### ・引締め機の種類と用途は？

- 1) 引締め方法により4種類のタイプがあります(使用画像は写真をクリックしてください)

#### ■両締めタイプ:



- ・帯鉄をあらかじめ所定の寸法に切断しておいて引締め機の中心に引き寄せるように締めていきます
- ・平物の梱包物で決まった長さの梱包を複数行う場合にに向いています(丸物の引締めはできません)
- ・梱包物がたわむものでは増し締めが出来ませんので梱包物がたわまない梱包物にご使用ください

#### ■片締めタイプ:



- ・結束機の標準的な方式です 梱包物は丸物・平物を問わず使用できます
- ・帯鉄はあらかじめ切断したもので長尺のままでも使用できます(カッターが付いておりませんので**結束後 切断していただくかあらかじめ切断した帯鉄を御使用下さい**)
- ・シールに引締め力が加わりませんので並シールが使用できます
- ・引締め部が宙に浮いた状態でも使用できます
- ・梱包物と帯鉄の間に結束機が一部入りますので**結束後わずかなゆるみが発生する場合があります**

#### ■プッシュタイプ



・上記片締めタイプの短所を改善**作業性を向上**させたタイプです

- ・片締めタイプと同様に丸物・平物を問わず使用できます
- ・帯鉄はあらかじめ切断したもので長尺のままでも使用できます(**カッター付き**)
- ・長所:
  - ・帯鉄と梱包物の間に結束機が介在しないため**隙間の無い結束**が出来ます
  - ・結束機と帯鉄のセットが非常に簡単敏速に出来るため**作業性が向上**します
  - ・**カッター付き**のため帯鉄の切断が非常に容易です
- ・注意:
  - ・シールを押しながら引き締めますのでシールの開き防止のために**オーバーラップシール**を御使用下さい
  - ・シールが梱包物に密着した状態で御使用ください(結束部は宙に浮いた状態では使用出来ません)

#### ■巻き取りタイプ



- ・少し変わり種ですが巻き取り型引締め機があります
- ・一般的な上記の引締め機が0.9x25mm以上に使用できないため開発された**超重梱包用の引締め機**です
  - ・引締め力は強力です1.2x32mmの帯鉄まで対応できます
- ・帯鉄の片方を固定しもう片方を引締め機に巻き取りながら引き締めます

### ・引締め機の選定のポイントは？

- ・まず、何を梱包するか又どのような作業をするかにより上記引締め機のタイプを選定してください
- ・次に使用する帯鉄のサイズにより使用できる引締め機を選定して下さい
- ・適用帯鉄のサイズには幅がありますが余裕を持って一つ上の機種をお選び頂くと作業が楽になります(軽い力で引締めが出来ます)
- ・単価を低く抑えた機種は基本的な機能は備えていますが、作業性(使い勝手)を重視したいとか長く使用したいときはやはりある程度の投資がよい結果を得られると考えます

### ・封緘機選定のポイントは？

**ポイントはシールに適合した機種を選定と作業性、耐久性です**

- ・封緘機には**並シール用とオーバーラップシール用が用意されています**  
お使いのシールに合わせてください
- ・帯鉄が薄ければ封緘に要する力は小さくてすみませんが厚みが厚くなるとより大きな力が必要となりますので **極力大きな封緘機を選定下さい**
- ・封緘する形状で切込みが一つの**シングルノッチタイプ**と2箇所の**ダブルノッチタイプ**がありますがダブルになると力もいりますので**ダブル御使用の場合は帯鉄の厚みが0.8以下迄を推奨します**(オーバーラップシール用封緘機はシングルノッチとなります)
- ・梱包物の形状によっては**横型封緘機**の御使用を勧めます
- ・特に刃の部分の**耐久性は重要**です 使用中磨耗が進むとノッチ切込みが不十分となり帯鉄の抜けが発生する場合があります